

東日本女性部ニュース

国 労 東 日 本 女 性 部
発行責任者 佐々木 久恵
編 集 齋藤 七重



NO.3

発行年月日 2016年 12月 1日

東日本女性社員交流会 明るく！元気に！学習交流会

第二六回明るく元気に！東日本女性部学習交流会を、七月九ー一〇日軽井沢にて開催しました。OBを含め二名の結集がありました。

佐々木女性部長挨拶

JRの中に女性の職場が増えているが、問題は山積みだ。国労は女性部交渉を実現した。交渉の基本は、女性部実態調査だ。

七月に産休に入るGS女性社員がまだ泊りをやっているとの交渉にぶつつけてきた。その後泊まり勤務を降りることができた。ありがたいという言葉が本部に届いた。

国労の組合員ではなかったが改善につながることでできた。私たちの運動が実を結んだことは、自信につながることでだ。言い続けることが大切だ。

勉強して、交流して元気になって職場にもどる場としてこの交流会を開催する。

武田組織部長挨拶

最近の職場には、パワハラ、マタハラ、セクハラなどハラスメント増えている。女性部の交渉を実現した。平成採用の女性組合

員も出席し、堂々と意見を述べてきた。会社側は、女性担当は男性だった。会社の中で女性が軽視されているのが明らかだ。職場の中で、国労差別はないのか、和解の趣旨を知らせていく活動が必要だ。おかしいことはおかしいと訴え続けていく。女性部の実態調査は有用だ。今後も続けてほしい。



国労女性部
中央委員会
2016年11月
3-4日
東京にて開催
され、東日本
女性部からも
4名が参加しま
した。

東日本女性部常任委員会と 仙台女性部で交流をもちました

第8回 常任委員会開催

十月二日仙台地本常任委員会と合同で山形にいる女性組合員交流会を開催した。国労の運動を継続していく若い力、地にしつかり足をつけて活動している姿を見ることができた。

